

# 新入荷商品のご紹介



岩田日出夫 紬訪問着  
 手紡ぎの国産糸を、使い丁寧に織り上げられた紬の訪問着。織物で訪問着を作るのはとても難しく、岩田日出夫さんの珠玉の逸品です。

432000円



嵐山よしむら  
 バッグ  
 19440円  
 モノトーンの中にターコイズブルーのラインがデザインのアクセントになって持ち出すのが楽しくなるバッグです。



かわちやオリジナル草履  
 白地でさわやかな台に更紗の鼻緒が何ともおしゃれに足を飾ります。

M・L 29320円  
 S・LL 31320円



印伝 財布  
 21600円  
 華やかなローズの柄を前面にあしらった、この春一押しアイテム。小銭を入れる部分が大きく開くので、使い勝手の良い逸品です。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

# きもの新聞 2019年4月号

## ごあいさつ



新年度がスタートしました。元号も発表され慣れ親しんだ『平成』から、『令和』へと、新たな時代の幕開けです。今まで、着物ライフをはじめてみたいけど躊躇していた方、是非とも新時代とともに、一歩前に踏み出して、着物ライフを初めてみてください。

5月の連休 4月30日(火)・5月1日(水)

## 特集 岩田日出夫さんのものづくり



先日、ある問屋さんに伺った際、ひときわ目を奪われる着物がありました。思わず、かわちやのコレクションに加えてしまったその着物の作者は岩田日出夫さん。冬になると雪深い織物の産地十日町の染織作家さんです。まず、最初に目に飛び込んできたのは、もちろん岩田さんの着物の魅力でしたが、作者名をお聞きして、人の縁の不思議さに驚かされました。岩田さんとは、7、8年前に2度ほど工房を訪れてお会いしており、一緒にものづくりを始めて行こうとしていた矢先だったのですが、色々な理由で、ご縁が止まってしまっていたのですが、数年たち今回は、問屋さんからのご縁でしたが、再び岩田さんの作品にたどり着くことができました。

岩田さんは、とにかく人柄の良さがにじみ出ている、工房に伺った時も、いやな顔をせず、丁寧に答えて下さる姿勢は、ものづくりの作品にも現れているそんな気がします。今回ご紹介する着物は紬の訪問着で、まず、一番の特徴は手で紡いだ糸を使っていることです。手で紡ぐことによって、温かみのある均一ではないムラ感が味わいを生み出しています。また、染ではなく織で柄を出しているのですが、柄の位置が合うように計算して織っていかなくてはいけないため、手間と技術がある究極の着物です。紬ですので、一応カジュアルですが、存在感もあり、現代においては準フォーマルシーンにも十分対応できそうなお着物です。



twitter、facebook、  
 アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや  
 フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！  
 かわちやあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。  
 着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。  
 チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521  
 愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62  
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>  
 メール info@gofuku-kawachiya.co.jp  
 tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539